

# 國學院大學学術情報リポジトリ

## 『第13回学生宗教意識調査報告』改訂増補版の公開

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.57529/0002000618">https://doi.org/10.57529/0002000618</a>

## 『第13回学生宗教意識調査報告』改訂増補版の公開

本報告は、2020年度に実施された「第13回学生宗教意識調査」の分析論考を中心に編まれたものである。同調査の実施と報告書刊行（2021年2月）の概要については、本誌14号のトピック6（15頁）に掲載されており、そちらを参照頂きたい。ここでは既刊報告書と改訂増補版との違いを紹介したい。

### 【改訂増補版の目次】

- はじめに
- 第13回学生宗教意識調査（2020年）【改訂版】…1
- 今井信治・丹羽宣子「学生の宗教意識から浮かび上がるもの—『第13回学生宗教意識調査』を題材に一」…35
- 今井信治「浮遊する宗教的関心と宗教的文化資本の継承—実証研究に基づく理解を目指して—」…53
- 丹羽宣子「宗教教育とジェンダー — 「隠れたカリキュラム」概念に着目して—」…81
- 「2020年度調査票」…95
- あとがき

まず本誌では、意識調査結果の改訂版を掲載する。主な改訂内容として、既刊の報告書では単純集計のみ表示されていたため、調査結果の検定作業を通じて内容を精査し、過年度の報告書に倣ってショートコメントを付した点が挙げられる。また、公開が冊子媒体ではなくオンライン形式となったこともあり、判読を容易・明確なものにするため、グラフは全てカラー版に改めている。

増補としては、分析論考3本を新たに掲載

した。1本目は、分析作業を担当した当研究所の今井信治氏（共同研究員）と丹羽宣子氏（客員研究員・当時、現・共同研究員）による共著論文で、第13回意識調査全体の詳細分析に位置付けられるものである。宗教系／非宗教系大学の別、さらに男女の差による検定結果の分析から得られた知見をまとめている。

2本目の今井氏の論文は、調査結果の中でも「〔Ⅱ〕身の回りの宗教についての意識・関心」に焦点を当て、「あなたは宗教にどの程度関心がありますか。」（Ⅱ-1）ならびに「父の宗教」（Ⅱ-5）と「母の宗教」（Ⅱ-6）を主な説明変数とする分析を行ったものである。

調査結果の内、「〔Ⅵ〕天皇の即位に関して」と「〔Ⅷ〕宗教とジェンダーについて」の2項目を中心に、宗教系学校（大学・高校）に所属経験のある学生の宗教意識と、その背景を検討したのが、3本目の丹羽氏の論文である。

以上の論考は、宗教社会学の専門的知識に基づく調査結果の分析に留まらず、本調査を題材とした現代宗教論となっている。これらは本学HPの当所ウェブサイト上で、PDF形式にて公開している（下記URL参照）。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/assets/uploads/2022/05/CSATRS2020enlarged-full.pdf>  
(吉永博彰)

